

R4年度PBL事例

1. 福井大学におけるPBL事例

<実施事例>

福井大学×株式会社 大喜、NPO法人エルコミュニティ、各自治体、他複数 『データ解析にもとづく地域課題解決の実践』

【指導教員】 地域創生推進本部 竹本教授

【参加学生】 大学院工学研究科、工学部 19名（産業創成工学専攻 経営・技術革新工学コース）

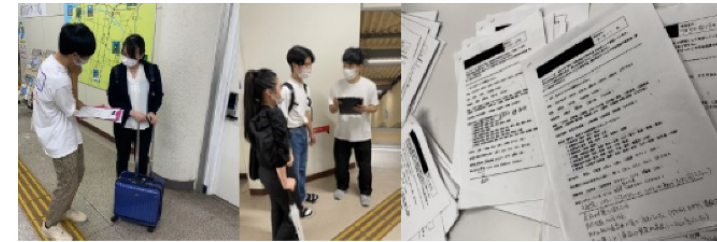
【活動期間】 令和4年4月～令和5年1月

<協働先の課題>

- ・新規事業の創出、事業の多角化、地域・産業等の活性化等

<事業成果>

- ・月1回のペースでプロジェクトの進行状況および活動報告会を実施
NPO法人エルコミュニティ、株式会社電通西日本、他、と共同して実施
他大学との共同ゼミ等で発表会やワークショップを実施し意見収集
- ・データ解析に必要な統計学知識の学習を毎週ゼミナール形式で実施
- ・チーム単位で課題解決型の取組を実施
 - 1 多文化共生（越前市）
 - 2 観光振興（あわら市）
 - 3 U・Iターン（福井県）
 - 4 越前焼振興（越前町）
 - 5 観光振興（敦賀市）
- 1 越前市内において在日ブラジル人の子どもを対象とした学習イベントを実施
- 2 仮説検証に基づく観光客の移動に関するデータ収集計画を策定
- 3 U・Iターンアンケートデータの分析
- 4 地域職人へのヒアリングを通じ、越前焼振興イベントを提案
- 5 「酒粕のマルシェと足湯『北ノ庄城址 酒粕屋』」（福井市内）で試作品販売
敦賀市内で行われた「ミライエ（敦賀港イルミネーション）」で試作品の展示



<協働先からの感想>

- ・新規事業の可能性につながることを期待しており、今後も大学との共同プロジェクトを検討している。

2. 福井県立大学におけるPBL事例

<実施事例>

福井県立大学×(株)サンガ、(一社)福井県猟友会 他

『福井の地域社会における獣害対策とジビエ利用促進』

【指導教員】 学術教養センター 加藤裕美准教授

【参加学生】 経済学部1年生4人、生物資源学部1年生4人、看護福祉学部1年生4人、海洋生物資源学部1年生8人

【活動期間】 令和4年9月～令和5年3月

<協働先の課題>

- ・若い世代での狩猟者の減少、ジビエに対する認知不足
- ・有害鳥獣として捕獲された野生動物の有効活用

<学生の取組内容>

- ・協働先による講義を受け、課題解決についてアイデア考案
- ・地域社会における鳥獣害対策、狩猟、解体、ジビエ利用等に関する現場実習の実施
- ・有害鳥獣駆除の実働部隊として学生が参加
- ・福井県産ジビエ普及メニューの考案、試作
- ・鳥獣害の現状、ジビエの利用促進等に関するポスターの作成、掲示

<事業成果>

- ・学生が有害鳥獣駆除の実働部隊として活動
- ・狩猟の認知度を高めるポスターを作成し学内に掲示
- ・ジビエ料理の認知度を高めるポスターを作成し掲示

<協働先からの感想>

- ・学生が参加したことにより、シカの商品化について柔軟な発想を聞くことができた。
- ・授業をきっかけに、学生が継続的に鳥獣害見回り隊として活躍してくれており、活動が活性化した。



3. 福井工業大学におけるPBL事例

<実施事例>

福井工業大学×株式会社ホリタ・ホリタ文具春江店

『AI・IoTを活用した企業の課題解決』

【指導教員】工学部 電気電子工学科 芥子 育雄 教授

【参加学生】工学部 電気電子工学科4年生 6名

【活動期間】令和4年4月～令和5年2月

<協働先の課題>

- ・商品最小管理単位（SKU）と商品中分類の数が増加しているため、これらに関する詳細なPOSデータの分析と活用が困難になっている。

<学生の取組内容>

- ・POSデータを活用した商品の陳列方法の分析。
- ・POSデータに基づく販売数の予測と、人流データに基づく来店客数の予測。
- ・Vtuberオペレーターを活用したアバターロボットによるコミュニケーション支援。

<事業成果>

- ・複数回の実証実験を通じて、POSデータ分析からは得られない商品陳列の工夫を実施。これは同時購入分析に基づく商品販売に繋がった。
- ・POSデータ分析に基づく商品陳列とアバターロボットによる接客の実証実験を行い、各メディアに取り上げられた。
- ・北陸産学技術交流会（北経連と共催）において、上記実証実験に関する情報提供を実施。

<協働先からの感想>

- ・学生の積極的な参加により、アバターロボットをエンターテイメントの要素として活用することに成功しました。今後は、アバターロボットのAI化を進めることで、業務の効率化と品質向上が期待されます。さらに、学生によるPOSデータ分析への新たなアイデアや取り組みにも引き続き期待を寄せています。



(実証実験の様子)

4. 仁愛大学におけるPBL事例

<実施事例>

仁愛大学×越前市教育委員会

『ポルトガル語による初歩的な「算数」教材の開発』

- ・越前市にはブラジル人を中心とした外国人が多く、教育現場、特に小学校低学年では、外国人の子どもたちが日本語を十分に理解できず教育格差が生じている
- ・そこで令和3年度に、小学校低学年向けの算数教材として、ポルトガル語の「すごろく」を開発し、令和4年度には、越前市内の小学校と連携して、ポルトガル語と日本語を併用した「算数」のひき算をテーマとした絵本『なににのろうかな?』を制作し、市内の全小学校と保育施設等に贈呈した



5. 敦賀市立看護大学におけるPBL事例

<実施事例>

敦賀市立看護大学×敦賀市（市民生活部 危機管理対策課、福祉保健部 地域福祉課・長寿健康課・健康推進課）

『敦賀市と看護大学生が創造する災害から要配慮者の命を守る体づくりと防災対策』

【指導教員】看護学部看護学科 准教授 河合 正成

【参加学生】看護学部看護学科 3年生40名

【活動期間】令和4年4月～令和5年3月



意見交換会（敦賀市昭和町）の様子

<協働先の課題>

- ・近年、全国的に水害等の災害が多発し、また、激甚化の傾向がある。敦賀市においても様々な防災や減災の備えが進められている中であって、特に高齢者、障がい者、乳幼児等の要配慮者の避難対応については、行政のみならず住民等が共通認識を持ち、連携して対応できるように備えることが重要であり、喫緊の課題である。



視察研修の様子

<学生の取組内容>

- ・学生と教員による地域訪問、地域の環境把握
- ・地域訪問等結果の分析
- ・健康づくりのための健康教室の立案
- ・事業活動況等に関する情報発信 など



環境調査の様子

<事業成果>

- ・郵送調査及び訪問調査による、避難の障害となる要因の分析
- ・要配慮者の避難の障害になる場所や危険な個所等を整理した環境地図の作成
- ・調査の結果と分析について、住民等を交えた成果報告会と意見交換会の実施 など

<協働先からの感想>

- ・災害に関する地域の実情や課題把握に繋がった。（行政関係者の方）
- ・防災に関してコミュニティ作りの重要性を再認識した。（住民の方） など

6. 仁愛女子短期大学におけるPBL事例

仁愛女子短期大学×森田地区・公民館

『森田地区地域課題解決支援プロジェクト』

【指導教員】生活科学学科 内山教授

【参加学生】生活科学学科生活情報デザイン専攻 1年生18名、2年生16名

【活動期間】令和4年6月～令和4年12月

<協働先の課題>

- ・新旧住民の交流促進のためのイベントの活性化
- ・住民の意見を反映した駅活用方策の検討

<学生の取組内容>

- ・もりのわフェスタへの参画（ブース、こどもの広場出店）
- ・駅活用検討ワークショップへの参画（WSの企画・運営・取りまとめ支援）
- ・駅活用社会実験(MoRe:Sta.)への参画（チャレンジショップ、こども縁日出店、アンケートの企画、集計・分析）

<事業成果>

- ・学生：地域社会の多様性、コミュニケーションの必要性を学べた。
WS企画やアンケートなどの担当を通じて社会人学習のプレ機会になった。
- ・協働先：WS意見やアンケートの取りまとめ、駅舎・駅周辺整備の提案などが、今後の取り組みや方針検討に有益で、次年度以降の検討に弾みがつくことが期待される。

<協働先からの感想>

「学生が参加により、地域の大人は元気が出る。WSのまとめ、社会実験のアンケートのまとめをしてくれたので助かったのと、今後の検討資料として重宝。」



9/11もりのわフェスタ



6/18第1回駅活用WS



11/20駅活用社会実験

7. 福井高専におけるPBL事例

<実施事例>

福井高専×テクノワープ株式会社（協働先）

『繊維関係製造業のDX化推進の提案を通じたPBL』

【指導教員】 電子情報工学科 西 准教授

【参加学生】 電子情報工学科5年生 1名

【活動期間】 令和4年5月～令和5年2月

<協働先の課題>

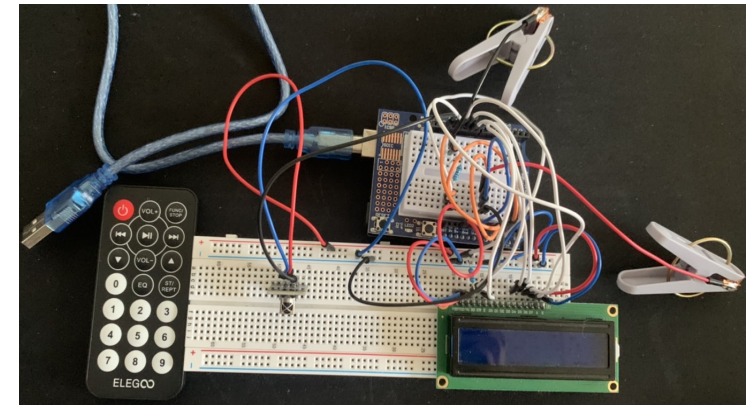
- ・エンジニア不足により、取引先からの技術課題に対応できない

<学生の取組内容>

- ・指導教員と一緒に協働先へ出向き工場見学を行うとともに社長から現時点での技術課題のヒアリングを行った。
- ・それを元に、卒業研究として1年間取組み、半年ごとに中間発表を行った。

<事業成果>

- ・社長自らの技術課題に対する理解が深まり、今後もPBLの活動を継続していくこととなった。



【写真】 学生が開発した測定器

<協働先からの感想>

- ・学生からの発表を聞いて技術課題に対する「切り口」の多様性を認識することができ大変有意義だった。